

2016年6月24日、市民交流センター「分じろう」で開催されたカフェ&ライブ「ART MIX CAFE with Sound Dialogue」。「分じろう」「十じろう」では、市民の思いが次々と形になって実現化され、にぎわいと市民活動の広がりを生み出しています。



個人では解決が難しい問題や、社会的立場の弱い人を社会全体で支え合うための仕組みとして「公共」があります。十日町市では、社会情勢に伴い多様化する市民のニーズに対し、市民や地域、企業やNPOなどとともに課題を解決する協働のまちづくりを進めています。

まちづくりの実現のために
【協働のまちづくり・行財政改革】

9

すべては 市民のために

協働のまちづくり

2015年に、市における、まちづくりの基本を定めた「十日町市まちづくり基本条例」が施行されました。市民がまちづくりの主役であることを共有し、市民・市議会及び行政の役割を明確にした上で、多様な主体が「公共」を支える協働によるまちづくりを進めています。

効果的・効率的な
行政運営の実行

市民の目線に立った行政サービスを提供し、市民本位の組織へと改革を推し進めるため、行政改革の取り組みを進めています。第二次総合計画のまちづくりの目標値の項目と一体的に推進することで、限りある行政資源をより一層効果的・効率的に活用する自治体経営に取り組みます。

コンビニエンスストア等における市民サービスも、これまでの市税の納付や各種公共料金の納付に加え、マイナンバーカードを利用した住民票等の各種証明書発行も開始し、市民の利便性向上を図っています。

持続可能な
行財政運営に向けて

限られた財源や人的資源の中でも、経済対策をはじめ高度化・多様化する市民ニーズへ対応するために、より重要度や優先度の高い事業の選択と集中により事業効果を高めながら、民間への外部委託などによる行政運営の効率化と市民サービスの向上を図ります。

また、地方交付税の縮減への対応も考慮し、市債の繰上償還や遊休財産の除却、公共施設の新電力への変更など、将来の経費負担軽減も見据えながら、とおかまち応援寄付金など外部からの支援による新たな財源確保にも取り組み、持続可能な財政運営の確立を目指します。

子どもからお年寄りまで
市民に愛される場所にしたい。



まちなかステージ応援団二代目団長
NPO法人市民活動ネットワークひじろ
コーディネーター
荏澤 篤さん

ひとサボは、十日町市の人々、人と団体・団体同士をつなぎ、絆を紡いでいくことで、市民活動をより充実したものにするためのネットワークです。「市民の力でこのまちを盛り上げたい」という有志が集まり、2011年から活動しています。(分じろうと十じろう)は市のプロジェクト「まちなかステージづくり」の一環としてできた、市民活動の拠点となる双子の施設。計画の段階から市民が加わり、市民の手で市民の意見を反映させながらつくってきました。(分じろう)には「地元内外の人の交流の場」、(十じろう)には「地元の人々の『活動』の場」としての機能を持たせています。2016年春にオープンし、今では市民の憩いの場、活動の場となっています。



大人だけでなく子どもたちの意見やアイデアも取り入れて、「まちなかステージづくり」の各プロジェクトは進められています。



市民交流センター「分じろう」と市民活動センター「十じろう」の設計に係る協働の取組みが評価され、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。また、受賞した1,229件のうち、特筆して優れているとして「グッドデザイン・ベスト100」に選ばれました。



■地域自治組織

2012年度に市内13の地域自治組織が発足。公共を支える重要なパートナーとして行政とも連携しながら地域づくりを進めている。(写真は、下条地区振興会が取り組んだ棚田展望台の整備)



マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書交付サービス



■とおかまち市民活動見本市 めっかめっか

市内のNPO法人や市民活動団体が一堂に会し、日ごろの活動の成果や魅力を発信するイベントです。

Doing Everything for our Citizens

In Tokamachi City, the public sector exists as a society-wide system to support the socially vulnerable, and those who face issues that they cannot resolve alone. We are working to encourage cooperation between people, community, companies and non-profit organizations to address the ever-diversifying needs of our citizens.

为了全体市民

为了让社会全体成员相互支持，消解一己之力难以解决的问题、帮扶社会上的弱势群体，就有了作为组织机构的“公共”。在十日町市，我们随着社会情势变化多样的市民动态，协理市民与地区、企业与非营利组织（NPO）之间的各种问题，通力协作推进城市建设。